

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
CED12100	[木7]文講101	30	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	後学期	木7	地域共創研究科地域共創専攻
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
C00109002	協働実践	2	
担当教員[ローマ字表記]			
本村 真			

授業の形態

講義、演習又は実験

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

TeasmやZoom等を活用した遠隔ライブ形式の活用を含めて、詳細は学生の要望も確認しながら設定する。

地域社会の持続のために求められる様々な課題の具体的な解決に参加する多様なアクターやセクターの特性と、それらの相互関係に関する実践理論を理解するための知識を提供する。中心的なテーマの具体的なフィールドの一つとして社会福祉領域における課題解決を取り上げ、問題可決のために個別支援を展開するための援助技術について、対象者のニーズ把握の重要性や、関連する多様なアクター間のコミュニケーションスキルについて、自分自身のコミュニケーションの特徴も交えて理解を深める。先行研究も参照しながら、基本理論、解決過程、具体的技法、事例研究などを実践的な立場から考察する。これらの知識を基に、学生自身が興味関心をもつ具体的フィールドの課題解決について、ケース検討を交えたディスカッションにより実践的な理解を深める。

URGCC学習教育目標

達成目標

- (1)社会福祉領域における課題解決における対象者のニーズ把握の重要性について具体的特性を踏まえて説明できる。[専門性][創造性][倫理性]
- (2) 関連する多様なアクター間のコミュニケーションスキルについて、自分自身のコミュニケーションの特徴も交えて説明できる。[専門性]
- (3)受講生自身の関心の高い領域における課題解決の展開について、その概要を説明できる。[専門性][創造性]

評価基準と評価方法

講義中に課される発表内容およびディスカッション内容により目標の(1)～(3)の達成度を評価する（50％）：
講義終了後のレポートにより達成目標の(1)～(3)の達成度を評価する（50％）

履修条件

地域社会における様々な課題の解決について自分事として強い関心を持って探索する姿勢が求められる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーションと受講生の関心テーマのシェアリング
第2回 課題解決における対象者（当事者）理解の重要性
第3回 対象者（当事者）理解の理論と実践（「子どもの貧困」を通して）①
第4回 対象者（当事者）理解の理論と実践（「子どもの貧困」を通して）②
第5回 対象者（当事者）理解の理論と実践（「子どもの貧困」を通して）③
第6回 対象者（当事者）理解の理論と実践（「子どもの貧困」を通して）④
第7回 支援関係者間のコミュニケーション理解①
第8回 支援関係者間のコミュニケーション理解②
第9回 支援関係者間のコミュニケーション理解③

- 第10回 受講生の関心領域の課題概要に関するディスカッション①
- 第11回 受講生の関心領域の課題概要に関するディスカッション②
- 第12回 受講生の関心領域における新たな支援の展開に関するディスカッション①
- 第13回 受講生の関心領域における新たな支援の展開に関するディスカッション②
- 第14回 受講生の関心領域における新たな支援の展開に関するディスカッション③
- 第15回 まとめ

■ ■ 事前学習

講義で取り上げるテーマに関して各自の問題意識を基に情報収集し、問題意識を明確にする。

■ ■ 事後学習

講義内で取り上げられたテーマに関して自分自身の問題意識を基にして更に理解を深めるための情報収集等を行う。

■ ■ 教科書にかかわる情報

■ ■ 教科書全体備考

随時紹介する

■ ■ 参考書にかかわる情報

■ ■ 参考書全体備考

随時紹介する

■ ■ 使用言語

日本語

■ ■ メッセージ

提示される情報について学生参加の議論を展開する。学生自身が選定したテーマについて理解を深めると共にそのテーマについて自身の考えを発表する。

「地域公共政策士」対応科目

■ ■ オフィスアワー

木曜日10:20～11:50（要予約）

■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

■ ■ URL